

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公表番号】特表2008-543990(P2008-543990A)

【公表日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-515990(P2008-515990)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 K 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月18日(2009.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性樹脂と核剤とを含む熱可塑性ポリマー組成物であって、該組成物が以下の特性からなる群より選択される特性のうち少なくとも一つを有する、前記組成物：

A A C H E N テストに従って測定されたM T 4 値約0.125未満、及びC T 4 値約0.1未満；

表面粘着性消失時間約1時間未満；

充分な剛性時間約75時間未満；

着火時間約13秒超；または

自己消火時間約60秒未満。

【請求項2】

請求項1に記載の熱可塑性ポリマー組成物であって、該組成物が、以下の特性からなる群より選択される特性のうち少なくとも二つを有する、前記組成物：

A A C H E N テストに従って測定されたM T 4 値約0.125未満、及びC T 4 値約0.1未満；

表面粘着性消失時間約1時間未満；

充分な剛性時間約75時間未満；

着火時間約13秒超；または

自己消火時間約60秒未満。

【請求項3】

請求項1に記載の熱可塑性ポリマー組成物であって、以下の特性からなる群より選択される特性のうち少なくとも三つを有する、前記組成物：

A A C H E N テストに従って測定されたM T 4 値約0.125未満、及びC T 4 値約0.1未満；

表面粘着性消失時間約1時間未満；

充分な剛性時間約75時間未満；

着火時間約13秒超；または

自己消火時間約60秒未満。

**【請求項 4】**

熱可塑性樹脂と核剤とを含む熱可塑性ポリマー組成物であって、該組成物が、以下の特性：

A A C H E N テストに従って測定された M T 4 値約 0 . 1 2 5 未満、及び C T 4 値約 0 . 1 未満；

表面粘着性消失時間約 1 時間未満；

充分な剛性時間約 7 5 時間未満；

着火時間約 1 3 秒超；及び

自己消火時間約 6 0 秒未満

を有する、前記組成物。

**【請求項 5】**

該核剤がシリカ含有核剤である、請求項 1 に記載の熱可塑性ポリマー組成物。

**【請求項 6】**

該シリカ含有核剤が、粉末ガラス、粉末砂、粉末水晶、粉末シリカ含有セラミック、及びこれらの混合物または組み合わせからなる群から選択される、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 7】**

該シリカ含有核剤が、約 4 0 ~ 約 2 5 0 メッシュのメッシュサイズを有する、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 8】**

該シリカ含有核剤が、約 5 0 ~ 約 7 0 メッシュのメッシュサイズを有する、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 9】**

該シリカ含有核剤が、該熱可塑性ポリマー組成物の総重量に基づき約 1 0 ~ 約 7 0 重量 % の量で存在する、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 10】**

該シリカ含有核剤が、該熱可塑性ポリマー組成物の総重量に基づき約 4 0 ~ 約 6 0 重量 % の量で存在する、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 11】**

該シリカ含有核剤が、粉碎ガラス、粉末ガラス、破碎ガラス及びこれらの混合物または組み合わせからなる群から選択される、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 12】**

該ガラス粉末が約 6 0 メッシュ以下のメッシュサイズを有する、請求項 11 に記載の組成物。

**【請求項 13】**

該熱可塑性ポリマー組成物が、3 2 5 ° F で 3 0 0 , 0 0 0 センチポアズ未満の粘度を有する、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 14】**

該熱可塑性ポリマー組成物が、3 2 5 ° F で 7 5 , 0 0 0 センチポアズ未満の粘度を有する、請求項 5 に記載の組成物。

**【請求項 15】**

該熱可塑性樹脂が、ポリエチレンテレフタレート (P E T) のエステル (修飾ポリマーを含んでいても良い) ; ポリエチレンナフタレート (P E N) のエステル (修飾ポリマーを含んでいても良い) ; 他のポリエステル材料 ; ポリエステル (全てのコポリマーを含む) ; ポリアミド (全てのコポリマーを含む) ; エチレンビニルアセテート ; ポリエチレンコポリマー ; ポリオレフィン ; ポリスチレン ; ポリスチレンブタジエン ; アクリロニトリルブタジエンスチレン (全てのコポリマーを含む) ; ポリ塩化ビニル ; アクリル ; スチレンマレイン酸アクリル ; アセタール ; フルオロポリマー (全てのコポリマーを含む) ; ポリブチレン ; ポリカーボネート ; ポリイミド ; ポリエーテルイミド ; ポリスルホン ; ポリエーテルスルホン ; ポリビニリデンクロライド ; シリコーン ; 及びこれらの混合物または

組み合わせからなる群から選択される、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 16】

さらに分散剤を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 17】

さらに難燃剤、充填剤、重量剤、酸化防止剤、抗菌剤、抗微生物剤、抗真菌剤、紫外線防止剤、及びこれらの混合物または組み合わせからなる群から選択される添加剤を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 18】

請求項 1 に記載の組成物を含む、カーペット裏当材組成物。

【請求項 19】

請求項 5 に記載の組成物を含む、カーペット裏当材組成物。

【請求項 20】

請求項 1 に記載の組成物を含む、カーペットタイル。

【請求項 21】

請求項 5 に記載の組成物を含む、カーペットタイル。

【請求項 22】

熱可塑性樹脂とシリカ含有核剤とを混合する工程を含む、熱可塑性ポリマー組成物の製造方法であって、該シリカ含有核剤が、該熱可塑性ポリマー組成物の総重量に基づいて約 10 ~ 約 70 重量 % の量で存在する、前記方法。

【請求項 23】

該シリカ含有核剤が、該熱可塑性ポリマー組成物の総重量に基づいて約 40 ~ 約 60 重量 % の量で存在する、請求項 22 に記載の方法。

【請求項 24】

請求項 18 に記載のカーペット裏当材組成物を加熱し、該カーペット裏当材組成物を複数のカーペット裏当材ヤーン、カーペット布、又は不織布に塗布してカーペット裏当材を形成する工程を含む、カーペット裏当材の製造方法。